

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



西村分教会

大正14年1月27日	設立
昭和44年3月8日	移転建築鎮座祭
昭和44年3月9日	移転建築奉告祭

陽気ぐらしを目指して、たすけの輪を広げよう

今一手一つに、一步一步!

- *初席者一名以上
- *百万件のにをいがけ

創立百三十周年記念祭並六代会長就任奉告祭

立教184年(2021年)10月24日 執行

立教182年
5月号

陽気ぐらしを広げよう
お帰り講話を開催
婦人会

婦人会笠岡支部(上原きよ枝支部長)は、婦人会第101回総会の前夜、4月18日午後7時から講師に浅野福太郎先生(郡山大・摂央分教会長)を迎え「おかえり講話」を開催、約150人が参加した。終了後、同委員部有志による和洋菓

子、クロワッサン、ワイン、飲み物、おつまみ等の模擬店が開かれ賑わった。

本年6月23日(日)に開催する婦人会長様御臨席第24回笠岡支部総会また来年行われる婦人会創立110周年記念総会・第102回総会を目指してのスローガン「一人が二人の会員をご守護頂きますように」に向かって、会員が心を揃えて歩むことを誓いあった。

**「親里管内学生
新入生歓迎会」開催**

4月28日・笠岡詰所

学生担当委員会

笠岡学生担当委員会(山野弘実委員長)は、4月28日詰所にて、親里管内学生新入生歓迎会を開催した。今年、天理高校1部・2部、教校

学園、白梅寮、専修科、天理大学の学生、15人が参加した。歓迎会の挨拶では、大教会長様が、親々に感謝する事や、かしまのかりものについて述べられ、学生らは熱心に聴き入っていた。その後は、親睦のバーベキューの時間となった。参加者は学校生活や部活動などの近況を、お互いに語り合うと共に、同じ笠岡に繋がる学生同士の絆を深めた。



浅野先生の講話に耳を傾ける参加者



大教会長様、明勇先生を囲んで

第12回 大教会長杯 親睦スポーツ大会開催

5月1日

30年余り続いた平成が令和に年号が変わる正にその記念すべき日、大教会内での親睦を図るためのソフトボール大会が茂平グラウンドにて行われた。

当日様々な行事の多い中、少数参加が予想されたが、親睦目的のため集まった中学生以上大人までが85人、小学生以下も30人を超え大変賑やかな大会になりました。結果は優勝・海松ヶ岡チーム、準優勝・福山チーム、3位・久松チーム、4位・高屋チーム、5位・上下府中市チーム、6位・東ブロックチームでした。

参加・来場して下さった皆さま、当日150食の美味しいカレーを作って下さった婦人会の皆さま、前日から相談準備をして下さったスタッフの皆さま、雨の溜まったグラウンドを早朝から土運び整備して下さった有志の方々、本当に有難うございました。

(運営委員 上原志郎)



老若男女・左打ち・教会長・・・打ったり捕られたり...



賞状・トロフィー・賞品の授与



天候にも恵まれ、「親善」のソフトボール大会となりました

四月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます
親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の温かい親心による御守護とお導きによって日々は結構に恙なく生活させて頂いております 特に今は桜も花が散り葉桜へと変わり 山ツツジが色鮮やかに咲き誇り 子供達は新しい制服に胸躍らせ喜々として学校や職場に足運ぶ等 モノトーンの世界から色鮮やかな春爛漫の季節をお与え下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は日々親神様の親心を感じながら 教祖がお付け下された陽気ぐらしへ向かうひながたの道をわすかでも通らせて頂きたいと 日々は朝に夕に御礼申し上げます 陽気ぐらしを目指したすけの輪を広げるべく にをいがけおたすけにと努め励まして頂いております 又先日十八日の教祖二百二十一回目のお誕生日には誘い合わせておちばに帰らせて頂き 御誕生祭を通してお祝いを申し上げます 翌十九日の婦人会総会にも参加させて頂き 教祖にお喜び頂きました

その中今日の吉日は これの笠岡大教会の御祭り日でございますので おつとめ奉仕人一同 お教え下さった通りに 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて四月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には春の陽気に誘われ 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し 日頃のご高恩に事改めて御礼申し上げる状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて本日は祭典に引き続き 少年会で育成講習会並びに実技研修会をさせて頂き 道の将来を担う子供達を道の子供として育てていく事の大切さ そしてその技を勉強させて頂き たすけの輪を広げて行く一助とさせて頂く所存でございます

又今月二十九日は全教一斉ひのきしんデーでございますので 世界中でよふぼく信者が共に勇んでひのきしんに励んでいる事を感じながら 誘い合わせてひのきしんに汗流させて頂く所存でございます

更には又 来月は直轄教会への巡教月でございます 「月日にはせかいどう、ハみなわが子 たすけたいとの心ばかりで」の親心を いかにか我が心に持ち 人に伝え広めて行くかを 共に考え共に実行していく事を誓い合いたいと存じます

何卒親神様には 親心を絶えず見つめ 世の荒波に耐えながらたすけ一条に邁進する皆の真実誠の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り 真実の親心に触れ一列兄弟の理に目覚めて 欲を忘れて助け合う人が増殖して お望み下さる陽気づくめの世の状が一日も早く実現しますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

大教会だより

II 辞令 II

立教182年4月21日付

◎登用

承事 森本忠善

◎職制人事

神事部部长

岡崎真一

◎教人資格講習会(全期)修了者

立教182年5月11日終講

神驛 渡邊裕也

◎本部食堂ひのきしん

自 立教182年5月1日

至 立教182年5月6日

恵陽 藤本道喜

自 立教182年5月7日

至 立教182年5月15日

笠尋 三嶋正教

◎教祖誕生祭詔所受け入れひのきしん

自 立教182年4月17日

至 立教182年4月19日

・東ブロック

照陽 剣持秀子

立教百八十二年 四月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	てをどり			おつとめ			地方			役割 区分	講話	祭主		扨者	
									虫	田	大	吉	上	大	武	上	佐			坐り勤	少年会育成講習会	三島	大
上原順子	今川佐智子	佐藤香苗	中村義太郎	谷内伸自	中村道徳	森本忠平	上原繁次	岡崎真一	虫明好美	田中ますみ	大教会奥様	吉岡壽	上原繁道	大教会長様	武内清明	上原志郎	佐藤道孝	坐り勤	少年会育成講習会	三島	大	中村	大
三島照美	森本富美子	谷内美知子	上原浩	浅野明教	山田敏教	武内清明	高木昭祥	吉岡誠一郎	横山小智榮	岡崎豊子	内海安子	杉原博之	中島誠治	田中隆之	森本忠善	山野弘実	今川昌彦	前半	六月講話	指図方	賛者	赤木素志	
山野なつ	高木孝子	中村初美	赤木素志	虫明立生	岡田誠	三代温生	岡崎真一	上原繁次	田中つかさ	門脇加津	武内正美	横山逸郎	三島涉	中村剛	佐藤真孝	渡邊隆夫	田中隆之	後半	中島誠治	上原繁道	上原繁次	赤木素志	

◎立教182年定期巡教

海松ヶ岡	吳照	芳井	陶山	ひろさと	興明	金浦	摩耶	陽備	弥高	鶴山	久松	島根	神邊	高屋	福山	・西ブロック	久松	・福山ブロック	福山	・高屋ブロック	稲倉	・島根ブロック	照雲	・上府ブロック	甲井
上原明勇	上原明勇	上原繁道	田中隆之	大教会奥様	大教会奥様	大教会奥様	上原繁道	大教会長様	田中隆之	上原明勇	大教会奥様	大教会長様	田中隆之	佐藤道孝	上原繁道	甲井山田敏教	中村好江	中村好江	中村好江	大月道昭	大月道昭	雑賀元生	雑賀元生	山田敏教	山田敏教

谷本里喜男氏

訃報

高丸分教会長
4月24日出直されました。
享年86才

東悠 佐藤道孝 大藤道孝 照陽 上原明勇 輝美濃 佐藤道孝 新山邑 大教会長様 皆石部 佐藤道孝 明石市 武内正美 上中下 武内正美 府中市 田中隆之 東城 門脇元教 服部 上原繁道 島中 上原繁道 驛家 上原繁道 油木 上原繁道 葦陽 大教会長様 湯田 門脇元教 備中 上原繁道 神昭 武内正美 美郷 上原明勇 錦之備 田中隆之

談話室



運転士さんと

福満分教会 福島悦子

4月19日日本婦人会総会后、記念講演に移る前、私は聴こえないので、バス乗降場へ行った。一番乗りで、しばらく、運転士さんと二人のみの沈黙が続く。

ふと、運転士さんは、朝私達を降したあとずっとここにいて、退屈ではないのか、と思った。「バスを離れてはいけないと云う、規則があるのですか」と訊くと同時に、筆談用具を出すと「バスの出入りの移動があるので」とのことだった。

「本部へ参られたことありますか」「ない」「すぐそこが本部なのですが」、私が留守番するから参拝して来なさいとも云えず。ここまで来て、「おぢば」へ参らんとは、知らんとは。何とも、もどかしさに、毫碌している脳味噌がぐらぐら動き出し、人、一人おぢば帰りに誘うには容易でない、裏切られたこと、成功したこと、思い出した。

「詰所からでも、参拝されたらよかったですのね」と切り出して。日光見せず、結構云うな、と云うが、本部見ず

して、結構云うなです。一度、運転士ではなく、乗客として、奥さんと一緒に参拝しなさい。その価値は、十分にあります。教祖が待つていられます。時間は充分にある。私は、本部の建物のこと、教祖のこと、話し続けた。が、百聞は一見に如かずです。

そこで、詰所の先生方や、団体係の方に、運転士さんを、本部参拝に、お連れして欲しいと切に思いました。

惰性と慣性

稲富士分教会 須毛田 英尋

昨年甘露台が倒された節にふれ表統領先生山澤先生のことですから信仰が惰性になっているのではとのお言葉があった。惰性とは今までの力で暫くは動き続けられるが、いつかは停止する事を言う。動いている車のアクセルを離しても暫くは動き続けるがいつかは停止する。仕事も惰性でしているといつかは無くなる。信仰も先代までのお陰で教会が運営できても、惰性でやっていると段々と信者も減り、世間並みに流され、いんねんが再び目を覚まし、末の細道にならないか。最近ご本部が元一日のお言葉を再三発しておられる訳がここにある。水神は絶えずして元の姿にあらざと申し、水神は常に働き姿を変幻自在しこの世を生き生

きとさせて下さっています。水が止まりよどむとくさくさになると同様な心もマンネリ化してくると心が腐り悪い嫌なことが起こってくる。再三大変痛い目にあつた我が身である。惰性心に打ち勝つ心こそ勇み心すなわち慣性の心。慣性とは私達が毎日朝昼晩を迎えられるのは、大地が欠かさず一日一回自転しているし、一年に春夏秋冬を迎えられるのは欠かさず一年に一回太陽の周りを回っているから。もし止まると大地は混沌とした想像もつかない地獄かするでしょう。自転公転が慣性の世界。神は慣性の世界。神のご守護も常に変わる事のない慣性の世界。人はややもすれば年をとったら楽をしようと思ひ勝ちになるがこれは惰性で生きる事になる。出直す迄生涯現役で生きる心が慣性の心。自教会の会長様は83才になれるが支部の他の前会長さんから「山成さん、早く若い人に譲って楽になりなさい」と言われても、「いや教祖は現身を隠される迄一日なりと楽を通られた日はない。このまま続けていく」と頼もしくおっしゃっている。八十才手前から十数度に恒る監獄のご苦労、特に八十九歳の年、その冬は十年来の寒さの中を「ご苦労されたわれらのおひながたを銘々の心の元一日に刻み込もう。」

よりみち



天理市遠田町の特別養護老人ホーム「ひまわり園」にギター訪問を依頼された。詰所に来てから余りギターを弾いていないので久しぶりにギターを弾くと弦を押さえる左指が柔らかくなつて左指が痛い。弦を弾く右指もスピンドが出ない。できめんだな。「一日ギターを弾かないと自分に分かり、三日弾かないと他人に分かる」と言う。本当にその通りだ。もう4ヶ月近くおろそかになつている。こうなれば得意のアジの開き戦法だ。――開き直りです――唄はさておき面白話で笑つてもらうしかない決めて引き受けた。まあ演歌漫談といったところ。

4月3日、「ふるさと園」に行く。参加者は約30人位。40分程のお楽しみ。懸命にギターを弾いて唄う。皆様にも歌集を渡して唄ってもらおう。しゃべりは好調、ギターは不調だった点々頼みます。でも帰る時には皆様口々に「楽しかった」「また、来てください」と言つて下さる。有り難いことや。これから少しづつでもギターを弾かんとなかなあ。次回を約して詰所へ帰った。(1)